

〈事務局報告〉

1. 平成18年度 前期 理事会および All About Swine 編集委員会

平成18年5月29日(月)午前 東京大学 山上会館 会議室にて理事会を開催した。出席者は、岩村祥吉、波岡茂郎、赤池洋二、相馬由和、名越仁宣、吉田修作、浅井鉄夫、櫻井 忠、高橋吉男、佐々木隆志、廣瀬富雄、家入誠二、小林秀樹、筒井真理子、神山佳三、関 哲夫、小林一彦(事務局)の17名。

審議事項は、平成18年度総会議案(前年度事業報告と決算、本年度事業予定と予算、理事変更)および次回総会時講演内容。

編集委員会では29号および30号の内容について協議された。

2. 平成18年度 定期総会

平成18年5月29日(月)午後 東京大学 山上会館 大会議室にて定期総会を開催した。岩村会長挨拶の後小林秀樹副会長を議長に選出し、平成17年度事業報告、同年度決算報告、本年度事業計画および予算案について事務局の説明に基づき審議され、いずれも原案通り可決承認された。

1) 平成17年度事業報告

前期理事会を平成17年5月27日東大 山上会館で開催。

同日総会および研究会を同場所にて開催。「食肉の安全とと畜検査」および「と畜検査と現場へのフィードバック」をテーマに5講演が行われた。

平成17年12月1日 JAビル会議室にて開催。

平成17年9月と本年2月に All About Swine 27号、28号を刊行した。

2) 平成17年度会計報告(別表参照)

3) 平成18年度事業計画

前期理事会を平成18年5月29日午前に開催、同日午後 定期総会ならびに研究会を同場所にて開催。

10月 後期理事会開催予定。

9月および翌年2月に All About Swine 29号、30号を刊行予定。

4) 平成18年度予算案(別表参照)

アジア養豚獣医学学会(APVS)2009の開催に協賛するため、本年度より3ヶ年間準備金をAPVS2009実行委員会に支出することが承認された。

5) 理事および役員の交替

宮原 強理事(退任)、鈴木 滋理事(退任)、林 哲副会長(退任)、秦 政弘理事(退任)、神山 佳三氏(新任)、関 哲夫氏(新任) 林副会長の後任には名越理事が就任。

3. 第16回研究会

総会後以下4題の講演を行った。参加者約110名。本講演の内容は All About Swine 29号に掲載予定。

- ①日本SPF豚協会 年次報告(坂口 一平氏)、
- ②SPF豚100頭一貫5年間 - 3Kから3T(たまには 旅 楽しむ)養豚-(渡辺 幸男氏)、
- ③豚における注射用動物用医薬品の不適正使用による注射部位の病変形成(小野 雅章氏) ④新たな繁殖技術としての豚胚の体外生産と非外科的移植の現状と可能性(吉岡 耕治氏)

平成 17 年度決算報告書

日本 S P F 豚研究会

平成 18 年 5 月 29 日

	17 年度予算額 (円)	17 年度決算額 (円)	備 考
(収入の部)			
前 年 度 繰 越 分	291,325	291,325	
会費正会員／平成 15 年	40,000	2,000	1 名
会費正会員／平成 16 年	120,000	30,000	15 名
会費正会員／平成 17 年	600,000	416,000	208 名
会費正会員／次年度以降分	0	4,000	2 名
会 費 賛 助 会 員	160,000	160,000	8 社
会 費 特 別 会 員	100,000	100,000	日本 SPF 豚協会
広 告 料	1,050,000	681,188	AAS 26, 27 号分
預 金 利 息	1	1	
雑 収 入	10,000	44,960	研究会参加費, 懇親会残金
収入合計	2,371,326	1,729,474	
(支出の部)			
会 誌 原 稿 料	550,000	260,400	AAS 27, 28 号分
会 誌 編 集 料	120,000	12,000	同
会 誌 印 刷 代 ・ 送 料	1,000,000	613,990	同
講 演 会 謝 礼	80,000	80,000	4 名
研 究 会 開 催 費	150,000	69,600	施設費, 要旨, 演者懇親会代, お茶ほか
会 議 費	70,000	60,836	施設使用料など
通 信 費	30,000	35,230	切手, 現金書留など
事 務 費	30,000	26,037	ラベル代, 研究会封筒, ほか
雑 費	10,000	0	
予 備 費	331,326	0	
(支出小計)	2,371,326	1,266,093	
次年度繰越金	0	463,381	
支出合計	2,371,326	1,729,474	

*研究会開催基金として 1,500 千円を別会計とする。
 会計監査の結果収支が適正であったことを認めます。
 平成 18 年 5 月 1 日

監査 高橋 吉男 印

上記以外に未収金として ￥315,000 - (2 月発刊 AAS 28 号分広告料) があります。

平成 18 年度予算

日本 S P F 豚研究会

平成 18 年 5 月 29 日

	18 年度予算額 (円)	備 考
(収入の部)		
前 年 度 繰 越 分	463,381	
会 費 正 会 員 / 平 成 16 年	40,000	20 名
会 費 正 会 員 / 平 成 17 年	120,000	60 名
会 費 正 会 員 / 平 成 18 年	600,000	300 名
会 費 賛 助 会 員	160,000	8 社
会 費 特 別 会 員	100,000	日本 SPF 豚協会
広 告 料	700,000	AAS No.28, 29 号分
預 金 利 息 入	2	
雑 収 入	10,000	
収入合計	2,193,383	
(支出の部)		
会 誌 原 稿 料	550,000	AAS No.29, 30 号分
会 誌 編 集 料	120,000	同
会 誌 印 刷 代 ・ 送 料	800,000	同
講 演 会 謝 礼	80,000	4 名分
研 究 会 開 催 費	120,000	第 16 回研究会
会 議 費	70,000	
通 信 費	35,000	
事 務 費	30,000	
A P V S 2 0 0 9 準 備 金	50,000	アジア養豚獣医学会 (2009) '06 ~ '08 3 ヶ年間毎年
雑 費	10,000	
予 備 費	328,383	
(支出小計)	2,193,383	
次年度繰越金	0	
支出合計	2,193,383	

* 研究会開催基金として 1,500 千円を別会計とする。

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA4用紙に22字×33行、横書きで作成して下さい。手書きの場合は、原稿用紙を送付しますのでご請求下さい。
2. 原稿の1枚目には表題、投稿者名、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は当分の間「〒305-0856 つくば市観音台3-1-5 独立行政法人・動物衛生研究所 小林秀樹」までお願いします。

〔編集後記〕

日本 SPF 豚研究会総会はポジティブリスト施行の5月29日に開催された。政府はポジティブリストを外国産農産物との差別化を目的に安心安全を国民に定着させたいというもくろみがあるのだろうが、問題発生時の責任逃れはないか。

産業には様々な基準（値）が設定されている。国際基準、国内基準、あるいは自主基準等々であり、これらの基準は産業に関わる側も消費する側もその設定理由や利益が明確でなくてはならない。つまり設定することの意味が誰でも納得でき

なければならないのだ。例えば乾電池には国際基準があって、単一、単二といったようにサイズが決まっているので海外に行っても困らない。

ポジティブリストの消毒剤や抗菌剤のなかには残量が少なければより安全かもしれないという漠然とした品目も少なくない。しかし、その残量で生じる問題が本当に検討されているのであろうか。政府は出生率や食糧自給率など漸減する項目に数字目標をかかげるのが好きである。乳幼児に補助金を少しだけ増額したり、とんちんかんな農業補助金を出したりしてごまかそうとしているが、問題の本質の改善策になっていないので今後も減少の一途を辿るであろう。これらも政府の責任逃れと言いつきにすぎない。

始まったばかりのことにけちをつけたくはないが、今後ポジティブリスト施行によってどれだけ生産者から消費者が利益を享受できたのかきちんと分析して欲しい。単に政府系関係者の雇用拡大と天下り先の確保に終わらないことだけを切に願うばかりである。

（小林秀樹）

「All About Swine」

第29号 2006年9月発行 定価1,500円

発行所 日本 S P F 豚 研 究 会

〒305-0856

茨城県つくば市観音台3-1-5

動物衛生研究所

事務局 (株)伊藤忠飼料研究所

予防衛生チーム内

〒325-0103

栃木県黒磯市青木919

Tel : 0287(64)3652

Fax : 0287(63)8384